

2026年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻 人文社会コース

(第1次) 入試問題

【社会学】

(外国人留学生特別入試)

注 意

- 1 問題紙4ページ、解答用紙4枚、下書き用紙4枚である。
- 2 指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙、下書き用紙は、持ち帰ること。

【1】日本において「Z世代」と呼ばれる世代の特徴について、ライフコース、社会への影響という点から説明せよ。また、社会学において、「出生コーホート」ではなく「世代」という概念を用いることには、どのようなねらいがあるのかについても述べよ。なお、解答は【1】と書かれた解答用紙に記入すること。

【2】社会調査の方法をいくつか挙げ、それぞれの特徴・強みについて説明せよ。また、それぞれの方法を用いる際の注意点についても述べよ。なお、解答は【2】と書かれた解答用紙に記入すること。

次の文章を読み、下記の【3】～【5】の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

【3】(A) から (E) に入る人物としてもっともふさわしいものを、下記の人物リストの中から選びなさい。なお、解答は解答用紙の【3】と書かれた部分に記載すること。

【人物リスト】

ポール・グレッシー (P. G. Gressey)、ニクラス・ルーマン (N. Luhmann)、
ベネディクト・アンダーソン (B. Anderson)、ミッシェル・フーコー (M. Foucault)、
エマニュエル・トッド (E. Todd)、アーヴィング・ゴフマン (E. Goffman)、
ジャン・ボードリヤール (J. Baudrillard)、ジークムント・バウマン (Z. Bauman)、
ジョージ・リッツァー (G. Ritzer)、ユルゲン・ハーバーマス (J. Habermas)、
ルネ・ジラルド (R. Girard)、アーリー・ホックシールド (A. R. Hochschild)

【4】下線部 (1) に関して、それがどのような「個人のありかた」であるか、具体例を挙げて説明しなさい。なお、解答は解答用紙の【4】と書かれた部分に記入すること。

【5】下線部 (2) に関して、「近代的意味での社会が終焉しつつある」ことを象徴する具体的な現象を挙げ、それがどのような点で近代的社会の終焉を示しているのか説明しなさい。また、そのような現象がもたらす人々への影響についても考察しなさい。なお、解答は【5】と書かれた解答用紙に記入すること。